

教育センター「みらい」事業について

学校教育課 教育センター「みらい」

1 教育大綱の理念浸透、授業改善の推進

(1) 次期教育大綱

- 目指す姿 ・みんなで笑顔を育むまち「やいづ」
- 基本理念 ・優しく、強く、愛しい人

(2) 令和 8 年度 焼津市の教育の重点

- 「和のある集団の創造」 *R7 は、「失敗や間違いを恐れない子、疑問を言える子」

(3) 令和 8 年度 学校教育の重点（案）

- 「和のある集団の創造」 *R7 は、「失敗や間違いを恐れない子、疑問を言える子」
⇒ 子どもたちに挑戦（旅）をさせる

(4) 市内小中学校への周知方法

- ①今年度
 - ・市校長会議で説明、意見集約
- ②次年度
 - ・新たな組織となった市校長会議で説明
 - ・学校訪問で理念浸透、授業改善の推進

(5) 学習指導要領改訂に向けての情報収集・周知

- ・学習指導要領は概ね 10 年周期で改定される。令和 8 年度中に中央教育審議会の答申がま
とめられる予定であり、情報収集し必要な情報等を教育委員会及び教職員へ発信する。

2 子どもの豊かな学びの創造のために

(1) STEP UP English の試行（今年度初）

①目的

- ・外国語の授業が「書く・読む」領域に広がる前の 4 年生に、英語での活動を楽しむ
経験を通して、英語でのコミュニケーションに対する意欲を高めるとともに、学校
以外の場で学ぶよさを体感することで、学びに向かう姿勢を涵養する。

②対象

- ・大井川地区 3 小学校の 4 年生の希望者

③参加者

(ア) 指導者

- ・市内小中学校の授業に配置されている派遣業者の ALT 8 人と支援員 1 人

(イ) 参加児童

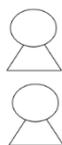
- ・11 人とプレ教室の学習の一環として参加した 3 人を合わせた 14 人

(ウ) 運営者

- ・教育センター職員 4 人

④参加者の感想

最初は緊張して、応募してよかったのかな？と思っ
ていたけど、来てみたら ALT の先生と一緒に活動
するのが楽しくて、参加してよかったと思った。英語
で話すこともとても楽しかった。



ALT の先生たちがとてもやさしく教えてく
れたし、ビンゴや工作、ゲームが楽しかった。
いろいろな ALT の先生がいてよかったし、
ほかの学校の友達とも話せてよかった。

⑤来年度に向けて

- ・長期休暇の日程、会場、参加者の送迎の安全等をふまえ、検討して確定する。

(2) 学校からの学習支援依頼の対応

①市役所

学校学年	依頼課	内 容
焼津西小 4年生	協働推進課	広報やいづの外国語版を広めるためのアイデアに対する助言
小川中 2年生	政策企画課	「住みよい焼津」で学んだ生徒のアイデアに対する助言
東益津中 3年生	くらし安全課、商工観光課、水産振興課、子育て支援課、障害福祉課、学校教育課 他	「明日はもっといい焼津になる」の学習に向けたインタビュー対応、発表会への参加

②焼津チームボランティア（今年度新たに発足した元教職員の集まり）

学校名	内 容
小川小	児童の発育測定の見守り
黒石小	就学時検診の補助
焼津東小	家庭科のミシン補助

3 子どもにとって魅力ある教師を育成するために

(1) 教員向けの研修の企画運営

研修名	対象教員（基本）	内 容
2年次研修	採用から2年目	授業公開3回、静浜幼稚園1日体験 異種校授業参観（焼津西小、豊田中）
3年次研修	採用から3年目	授業公開3回、焼津福祉会2日間体験
中堅教諭研修	採用から11年目	大井川南幼稚園1日体験

(2) 静岡大学教育学部（令和7年1月に相互連携協定を締結）との連携

①今年度発足した「社会科授業づくり研究会」への静岡大学の社会科教員の派遣開始

(ア)概要

- ・市校長会が推薦した研究会の会員の授業を、静岡大学教員が指導助言する。

(イ)成果

- ・様々な視点からの社会的事象の解釈、単元構想や学習課題についてのよさと改善点、生徒の表れについて専門的な見地からの評価等は、会員の資質向上になった。
- ・大学の先生、社会科授業づくりに情熱を持つ教員と、じっくりと協議する機会となり、同僚性が高まり、焼津市社会科教員の力量向上につながっている。

②各小中学校の校内研修への講師派遣

(ア)概要

- ・各小中学校に、校内研修への講師派遣希望を調査

(イ)成果

- ・黒石小学校の夏の校内研修の講師として、前年度の市指定研究発表校で講師をされた教員を希望通り派遣した。
- ・今年度、来年度と市指定研究発表校となっている焼津西小学校に、2年間を通して、指導助言いただく教員を派遣した。

(3) 静岡福祉大学（令和8年1月に相互連携協定を締結）との連携

- ①「理科指導法研究会」の発足に向け、準備をしている。
- ②その他の連携についても、今後、計画していく。

4 外国につながる児童生徒支援のために(詳しく説明します)

(1) プレスクールの会場の拡大(試行)について

①日時

- ・和田小会場 12/13 (土)
- 大井川南小会場 12/20(土)、1/10(土)、24 (土)、2/14 (土)、28 (土)、3/14 (土)
- ・ 8時から 12時

②今年度の試行の具体

	昨年度まで	今年度(令和7年度)	
対象	4月から市内小学校に入学する外国につながる未就園児、大井川南小に入学する園児	4月から市内小学校に入学する外国につながる未就園児、大井川南小に入学する園児	4月から和田小に入学する外国につながる未就園児、園児
会場	大井川南小 体育館会議室 ・校舎外 ・児童用のいす机あり	大井川南小 体育館会議室 ・校舎外 ・児童用のいす机あり	和田小学校 かんげい教室 ・校舎内 ・児童用のいす机あり
回数	7回	6回	1回
運営	教育センター職員 バイリンガル支援員	教育センター職員 バイリンガル支援員 <u>(協力) 保育幼稚園課職員</u>	教育センター職員 バイリンガル支援員 <u>(協力) 保育幼稚園課職員</u>
協力	給食センター 焼津警察署	給食センター 焼津警察署	給食センター
内容	オリエンテーション 母語の重要性と強化の仕方 学校の約束、トイレの使い方 道具の使い方、給食の食べ方 鉛筆の持ち方、掃除の仕方 交通安全教室、着替えの仕方 集団登校、日本語の勉強 開校式、閉校式 等	オリエンテーション 母語の重要性と強化の仕方 学校の約束、トイレの使い方 道具の使い方、給食の食べ方 掃除の仕方、交通安全教室、 着替えの仕方、集団登校、 日本語の勉強、開校式、 閉校式 等	オリエンテーション 母語の重要性 学校の約束 等

③参加者

- ・ 4月より市内小学校に入学する外国につながる未就学児 21人(うち未就園児8人)

④成果

- ・回数を重ねるごとに、子供たちの動き(聞く姿勢、声の大きさ、あいさつの仕方、保護者との距離感等)に成長が見られる。
- ・和田小実施日には、校長、教頭があいさつする機会を作った。保護者、入学予定児童とも、顔を見て、安心感を持つことができた。
- ・保幼課職員が、参加したことで内容把握ができた。今後の連携につながる。
- ・小学校を会場とし、開始時刻を8時とすることで、学校までの通学路を確認したり、リズムを整えたりすることができる。来年度も、適した会場、人員、予算の確保等を検討しながら、実施していく。

(2) 就学ガイダンスの実績報告について

①最近の傾向

- ・就学ガイダンスは、基本、直接入国してきた児童生徒の保護者対象に対し実施しているが、国内移動による焼津市内小中学校の転入についても、支援が必要だと判断する場合は実施し、事案によっては他課との情報共有をして支援を進めている。
- ・出身国は、フィリピンが変わらず多いが、今年度は、ブラジルも多い。

②教育センターで就学ガイダンスを実施した子供の人数 (R8. 1.26 現在) (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
フィリピン	0	1	2	2	0	2	2	4	1	0			14
ブラジル	0	0	1	1	2	1	0	0	2	2			9
スリランカ	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0			3
ネパール	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0			1
ベトナム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			1
人数	0	1	3	3	2	3	5	4	4	3			28

③就学ガイダンス後の児童生徒の状況 (R8. 1.26 現在)

状況	詳細	(単位:人)
プレ教室	小学生(7)、中学生(3)	【計10】
小学校就学	和田小(4)、大井川南小(2)、港小(1)、大井川東小(1)	【計8】
中学校就学	和田中(3)、大井川中(2)、港中(2)、小川中(1)	【計8】
その他	プレ教室準備(1)、ガイダンス実施中(1)	【計2】

- ・就学ガイダンスから学校就学まで、おおよそ3か月という目安はあるが、子供の実態、保護者の希望、家庭環境などを総合的に判断し決定している。
- ・学校に就学後も、学校と連絡を取り合い、継続的な就学になるよう支援している。

④成果と課題

- ・他課(家庭支援課)と連携し、転入家庭の安心安全な生活環境を整えた。
- ・フィリピンとブラジル以外の言語が母語になる児童生徒のプレ教室の実施が、バイリンガル支援員の確保ができず、母語指導ができていない。

(3)バイリンガル支援員の確保と育成、発掘について

①バイリンガル支援員の確保

- ・これからも、市内各小中学校からの要望に、できるだけ速やかに、希望通り対応できるように登録バイリンガル支援員の確保と育成、新たな人材発掘に努める。
- ・下の表は、今年度、新規に登録したバイリンガル支援員の言語別一覧表である。

言語	人数	発掘方法
フィリピン	4人	就学時検診での声かけ
ベトナム	2人	県の国際交流協会(SIR)に相談、職員の同僚からの紹介
その他	4人	支援対象生徒からの情報、登録支援員からの紹介等 (ウルドゥー、シンハラ、スペイン、ポルトガル1人ずつ)
計	10人	

- ・新規の登録者数はいるが、本業があつて支援の時間に限りがある支援員が多いため、プレ教室の課題は解消できていない。

②ポケットークの活用

- ・業者説明を受け、活用方法を検討し始めている。

(4)外国人児童生徒放課後学習支援(R8年度試行)

- ・外国につながる児童生徒の放課後学習支援として、会場1か所で試行し、検証する。